



1 課題

東広島市の若者の自殺者は増加傾向にあり、全国、広島県と比較しても若者の自殺率は高く、早急な対策強化が必要となっている。

2 概要

大学生を対象としたアンケート調査を実施し、自殺対策における東広島市の若者の課題を洗い出し、それに応じた心の健康教育プログラム（大学内での講座展開等）を構築する。

また、スマホでつながったコミュニティの個人への影響は大きく、繋がったコミュニティの質によっては自殺の予防につながる場合もあれば、ほう助につながることもある。若者の自殺予防に効果的なスマホ利用に資する知見を抽出し、心の健康教育プログラム、自殺予防啓発プログラムに繋げる。

大学 西村 太志
広島国際大学
健康科学部心理学科
社会心理学 教授（学科長）



太田 真貴
広島国際大学
健康科学部心理学科
臨床心理学 客員講師



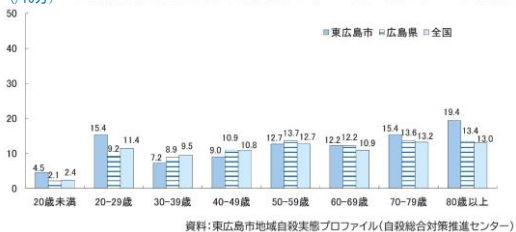
市担当課 ×

健康福祉部
医療保健課

図表 男性の自殺死亡率(人口 10 万対)
/年齢別(東広島市・広島県・全国、平成 29(2017)年～令和 3(2021)年合計)

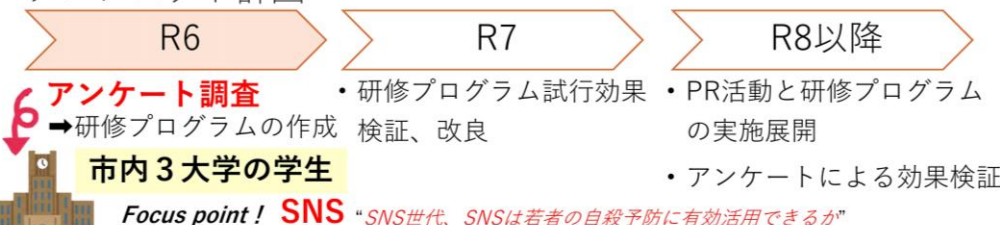


図表 女性の自殺死亡率(人口 10 万対)
/年齢別(東広島市・広島県・全国、平成 29(2017)年～令和 3(2021)年合計)



自殺率▶

本プロジェクトの流れと今年度の取り組み プロジェクト計画



【調査内容】

- ①大学生の精神的健康度の把握 (K6、自殺リスクの程度、ストレス要因や対処方法等)
 - ②大学生のSNS利用状況や目的
 - ③SNS上の対人関係も含め、大学生はどのような対人関係(居場所)を築いているかの把握
 - ④相談することについて、大学生の態度や相談手段、相談ニーズの把握
 - ⑤『自殺対策』に対する学生の認識、自殺をほのめかす人への対処方略について
- ※①と②、③、④の関連を検討し、⑤の内容も含め研修プログラムの内容や方法を検討する



▲取組みのスケジュール

3 到達目標・方法

- (1) 若者世代（大学生）の自殺予防に関する課題と現状の把握
- (2) 自殺予防につながる研修プログラムの開発
- (3) 市内で効果的な研修プログラムを展開